

国語	学習に関する児童の実態・課題	教科で身に付けさせたい資質・能力	具体的な授業改善の方策
3 年	<p>【知識・技能】</p> <p>▲漢字の学習に意欲的に取り組んでいるが、文章の中で既習漢字を使用することに課題がある。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○話し合い活動など、課題を把握し自分の考えを述べたり、人の考えを聞いたりすることができる。全体での発表となると、意見を言うことをためらう児童が複数いる。</p> <p>▲書くこと：助詞の正しい使い方にやや課題がある。</p> <p>▲説明文の読み取りに課題がある。（平均点78点）説明文の文章構成の理解を苦手とする児童が多い。書いてある事柄や筆者の考えを読み解くことが苦手な児童がいる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>○読書活動に親しんでいる児童が多くいる。</p> <p>○新出漢字の学習に意欲的に取り組む児童が多い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力調査からも、既習漢字の定着やに課題があることが分かった。授業や作文で既習漢字を積極的に使う力を付けさせる。 ・自分の考えに自信をもち、人に伝えることができる力。 ・助詞を正しく使って文章を書く力。 ・説明文を正しく読み取る力、文章構成や段落相互の関係（話題提示と答えの関係、原因と結果の関係）に気を付けながら、説明文を読み取る。 ・自分の課題を把握し、主体的に学習に取り組む力。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的に漢字テストや既習漢字の復習課題を与えることで、反復学習ができるようにする。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物語文の読み取りでは、叙述を基にした読み取りを重視し、そこから情景を想像させる授業の展開を行う。 ・文章構成や段落相互の関係（話題提示と答えの関係、原因と結果の関係）に気を付けながら、説明文等の読み取り指導を行う。 ・他者と互いの書いた文章を読み合う時間を作り、意見を交流することにより互いの文章の良さに気付いたり、文を整えたりする時間を設け、作文能力を高める。 ・タブレットを活用して発言・発表を促す指導を行う。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「振り返り」を単元の最後に記入させることにより、課題に対して自身の習を振り返られるようにする。

3 年 1 組	<p>【知識・技能】</p> <p>▲漢字小テストの平均76点、漢字50問テストの平均72点と、漢字の習熟に差がある。漢字の学習に意欲的に取り組んでいるが、文章の中で既習漢字を使用することに課題がある。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <p>○対話的な学びにおいて、課題を把握し自分の考えを述べたり、交流を通して友達のを聞いたりすることができる子は多いが、全体での発表となると、意見を言うことをためらう児童が複数いる。（特別支援教室通級児童）</p> <p>▲書くこと：はじめ・中・終わりの文章を書いたり、助詞の正しい使い方に課題がある。</p> <p>▲物語文の読み取りはできるが（平均点74点）とやや低い。また、説明文の読み取りに課題がある。（平均点78点）説明文の文章構成の理解を苦手とする児童が多い。書いてある事柄や筆者の考えを読み解くことが苦手な児童がいる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>○読書活動に興味・関心をもち、親しんでいる児童が多い。</p> <p>○新出漢字の学習に意欲的に取り組む児童が多い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・既習漢字を積極的に使う力を付けさせる。 ・助詞を正しく使って文章を書く力。 ・説明文を正しく読み取る力、文章構成や段落相互の関係（話題提示と答えの関係、原因と結果の関係）に気を付けながら、説明文を読み取る。 ・漢字を使っている作文など、自分の課題を把握し、課題に対して主体的に学習に取り組む力。 ・読書についての感想文を書き、発表する力 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字テストや既習漢字の復習課題に取り組むことで、反復学習ができるようにする。 ・玉川タイムでのタイピング学習により、ローマ字の知識を定着させる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物語文の読み取りでは、叙述を基にした読み取りを重視し、情景を創造させる授業の展開を行う。 ・文章構成や段落相互の関係（話題提示と答えの関係、原因と結果の関係）に気を付けながら、説明文等の読み取りができるようにする。 ・書いた文章の交流時間を作り、互いの文章の良さに気付いたり、文を整えたりする時間を設け、作文能力を高める。 ・タブレットを活用して発言・発表を促す指導を行う。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各単元の振り返りを記入し、自分の課題を捉え、その課題に対して取り組むことができたか、自身の学習を振り返られるようにする。 ・昭島市民図書館の図書貸出制度を活用し、読書活動を推進する。
---------	---	---	--

3 年 2 組	<p>【知識・技能】</p> <p>▲三年生になり、漢字の数が増え、構造も複雑になり苦手意識を持っている児童が多い。漢字テストには意欲的に取り組むが、文章中で使うこと課題がある。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <p>○自分の考えを伝えたり、聞いたりすることはできている。自分の考えを発表することが苦手な児童でもタブレットを使用することで伝えることができる。</p> <p>▲本文に書いてあることを読み取る力がない児童が多い。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>新出漢字に意欲的に取り組んでいる児童が多くいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新出漢字を覚え、文中で使用することができる力。 ・本文に書いてあることを読み取る力。 ・自分の課題を把握し、課題に対して主体的に取り組む力。 ・見通しを持つ力。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的に漢字テストを行い、予習と復習を行うことで、反復学習ができるようにする。 <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物語文の読み取りでは、引き続き叙述を基にした読み取りを重視し、そこから情景を想像させる授業の展開を行う。 ・文章構成や段落相互の関係（話題提示と答えの関係、原因と結果の関係）に気を付けながら、説明文等の読み取り指導を行う。 ・他者と互いの書いた文章を読み合う時間を作り、意見を交流することにより互いの文章の良さに気付いたり、文を整えたりする時間を設け、作文能力を高める。 ・タブレットを活用して発言・発表を促す指導を行う。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の初めに単元のゴールを示すことで、見通しを持ち、課題に向かって学習に取り組めるようにする。
---------	---	--	--

3 年 3 組	<p>【知識・技能】</p> <p>▲漢字小テストの平均点84点、50問テストの平均点78点。漢字の学習に意欲的に取り組んでいるが、文章の中で既習漢字を使用することにやや課題がある。また、漢字を普段から進んで使う児童が少ないことから、学期末の50問テストでは定着しておらず、点数が50点を下回る児童が学級の1/4だった。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○話し合い活動など、課題を把握し自分の考えを述べたり、人の考えを聞いたりすることができる児童が多い。話をしているときに遮って話してしまうなどの話を聞くときの態度に課題がある児童がいる。全体での発表となると、意見を言うことをためらう児童が複数いる。</p> <p>▲書くこと：助詞の正しい使い方に課題がある。</p> <p>▲物語文の読み取りはできるが（平均点90点）、説明文の読み取りに課題がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・既習漢字の定着に課題があることが分かった。 ・授業や作文で既習漢字を積極的に使う力を付けさせる。 ・自分の考えに自信をもち、人に伝えることができる力。 ・人の話を聞く力。（耳だけでなく、目や顔の向きなど聞くときの態度にきをつける） ・正しい文章構成で、文を書く力。 ・説明文を正しく読み取る力、文章構成や段落相互の関係（話題提示と答えの関係、原因と結果の関係）に気を付けながら、説明文を読み取ることのできる力。 ・自分の課題を把握し、課題に対して主体的に学習に取り組む力。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的に漢字テストや既習漢字の復習課題を与えることで、反復学習ができるようにする。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物語文の読み取りでは、引き続き叙述を基にした読み取りを重視し、そこから情景を創造したりする授業の展開を行う。 ・文章構成や段落相互の関係（話題提示と答えの関係、原因と結果の関係）に気を付けながら、説明文等の読み取りができるようにさせる。 ・他者と互いの書いた文章を読み合う時間を作り、意見を交流することにより互いの文章の良さに気付いたり、文を整えたりする時間を設け、作文能力を高める。 ・タブレットを活用して発言・発表を促す指導を行う。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「振り返りシート」を単元の最初と最後に記入することにより、自分の課題を捉え、その課題に対して取り組むことができたか、自身の学習を振り返られるようにする。 ・昭島市民図書館の図書貸出制度を活用し、読書活動を推進する。
---------	---	---	---

算数	学習に関する児童の実態・課題	教科で身に付けさせたい資質・能力	具体的な授業改善の方策
3年	<p>【知識・技能】</p> <p>▲基礎的な四則計算の理解している児童がほとんどだが、ミスが多く単元のまとめのテストで満点をとる児童は多くない。</p> <p>▲一部児童にかけ算九九の未定着が見られる。</p> <p>▲コンパスや三角定規など、教具を扱うこと、正しく丁寧に板書を書き写すことが苦手の児童がいる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>▲課題の解答に至るまでの過程を、言葉・式・絵や図などを用いて表現する力がやや不十分である。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>○新しい学習内容について、意欲的に取り組める児童が多い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・四則演算の基礎、基本の確実な定着。 ・問題文をよく読み、課題に対して丁寧に解答する力。 ・教具を正しく使い、素早く丁寧に板書を書き写す力。 ・課題解決に至る過程を、言葉・式・絵や図などを用いて表現する力。 ・自分の課題を把握し、課題に対して主体的に学習に取り組む力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間の授業の導入で、前時の復習を行い知識の定着を図る。 ・めあてに即した振り返りを自分の言葉で書かせることで、1時間の学習内容を定着させる。 ・自分の考えを言葉や式、絵や図などを用いて表す指導を重視し、友達に考えを説明する学習活動を授業の中に意図的に取り入れる。 ・日常生活の中から課題を作成し、意欲・関心を高める指導を行う。 ・少人数指導で単元や学習内容に応じて習熟度別分割での指導、支援員を活用した複数体制の指導を行い、個人差を考慮した指導を行う。 ・児童が葛藤する場面や数値を適度に取り入れ、問題解決力を高める指導を行う。

3年 1組	<p>【知識・技能】</p> <p>▲基礎的な四則計算の理解している児童がほとんどだが、ケアレスミスが多い。</p> <p>▲一部児童にかけ算九九が未定着が見られる。</p> <p>▲コンパスや三角定規など、教具を扱い方が身に付いていない児童が多い。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>▲課題の解答に至るまでの過程を、言葉・式・絵や図などを用いて表現する力がやや不十分である。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>○新しい学習内容について、意欲的に取り組める児童が多い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・四則演算の基礎、基本の確実な定着。 ・問題文を正しく読み取り、課題に対して丁寧に解答する力。 ・教具を正しく使い、丁寧に板書を書き写す力。 ・課題解決に至る過程を、言葉・式・絵や図などを用いて表現する力。 ・「は」「か」「せ」の定着力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間の授業の導入で、前時の復習を行い知識の定着を図る。 ・めあてに即した振り返りを行い、1単位時間の学習内容を定着させる。 ・自分の考えを言葉や式、絵や図などを用いて表す指導を重視する。 ・友達に考えを説明する学習活動を意図的に取り入れる。 ・日常生活の中から課題を作成し、意欲・関心を高める指導を行う。 ・少人数指導で単元や学習内容に応じて習熟度別分割での指導、支援員を活用した複数体制の指導を行い、個人差を考慮した指導を行う。 ・様々な文章題に取り組み、課題を解決させる授業を展開する。
3年 2組	<p>【知識・技能】</p> <p>▲基礎的な四則計算の理解している児童がほとんどだが、ケアレスミスが多い。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <p>○自分の考えを図や式や言葉で表現できる児童が多い。</p> <p>▲文章問題になると問われていることがわからず点数をとれない児童が多い。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>○新しい学習内容について、意欲的に取り組める児童が多い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・四則演算の基礎、基本の確実な定着。 ・問題文をよく読み、課題に対して丁寧に解答する力。 ・課題解決に至る過程を、言葉・式・絵や図などを用いて表現する力。 ・自分の課題を把握し、課題に対して主体的に学習に取り組む力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間の授業の導入で、前時の復習を行い知識の定着を図る。 ・めあてに即した振り返りを自分の言葉で書かせることで、1時間の学習内容を定着させる。 ・自分の考えを言葉や式、絵や図などを用いて表す指導を重視し、友達に考えを説明する学習活動を授業の中に意図的に取り入れる。 ・日常生活の中から課題を作成し、意欲・関心を高める指導を行う。 ・少人数指導で単元や学習内容に応じて習熟度別分割での指導、支援員を活用した複数体制の指導を行い、個人差を考慮した指導を行う。 ・様々な文章題に取り組み、必要な情報を取捨選択しながら課題を解決させる授業を展開する。
3年 3組	<p>【知識・技能】</p> <p>▲一部児童にかけ算九九が未定着が見られる。順番に答えることはできるが、問題の中で九九を生かし、解くことが難しい児童もいる。</p> <p>▲基礎的な四則計算の理解している児童がほとんどだが、ケアレスミスが多く。見直しをする習慣がついていない。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>▲課題の解答に至るまでの過程を、言葉・式・絵や図などを用いて説明する力がやや不十分である。特に言葉での記述や説明をする力が足りない児童が多い。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>○意欲的に取り組める児童が多い。</p> <p>▲新しい問題に取り組むときや、問題がわからないときに投げ出して諦めてしまう児童も一部みられる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・四則演算の基礎、基本の確実な定着。 ・問題文をよく読み、課題に対して丁寧に解答する力。 ・教具を正しく使い、素早く丁寧に板書を書き写す力。 ・課題解決に至る過程を、言葉・式・絵や図などを用いて表現する力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間の授業の導入で、前時の復習を行い知識の定着を図る。 ・児童に振り返りを自分の言葉で書かせることで、1時間で何を学習したのかを可視化し、学習内容を定着させる。 ・自分の考えを言葉や式、絵や図などを用いて表す指導を重視し、友達に考えを説明する学習活動を授業の中に意図的に取り入れる。 ・日常生活の中から課題を作成し、意欲・関心を高める指導を行う。 ・少人数指導で単元や学習内容に応じて習熟度別分割での指導、支援員を活用した複数体制の指導を行い、個人差を考慮した指導を行う。 ・様々な文章題に取り組み、必要な情報を取捨選択しながら課題を解決させる授業を展開する。